

1. 渡辺市長の示す「木更津飛行場構想」

※ 渡辺候補のマニフェストより引用

特出し 01 木更津空港構想 — 陸・海・空が交わる、首都圏のゲートシティへ — ～木更津空港をハブに、技術と人が循環し、未来へつながるまち・木更津～

木更津は、東京湾の中央に位置し、羽田・成田・東京・横浜・川崎といった首都圏中枢都市に最もバランスよくアクセスできるポジションにあります。

この地理的優位性と、陸上自衛隊木更津駐屯地の滑走路機能を最大限にいかし、「陸・海・空」が結び合う新しいゲートシティ をめざします。

構想の柱

1. プライベート航空・次世代航空モビリティの拠点化

- ・自衛隊滑走路の民間活用を視野にプライベートジェット受け入れ
- ・隣接地への国内外の企業オーナー等を対象とした格納庫の整備
- ・近隣地における eVTOL（空飛ぶクルマ）やドローンの実証・運航拠点化

- ・プライベートジェットのクルー・パイロットのレジデンス整備と周辺経済活性化

2. アクアライン・海上交通・空路を一体化したネットワークの構築

- ・アクアライン 6 車線化の早期実現に向けた国・県への働きかけと、LRT 等の大量輸送システムの導入・研究
- ・羽田・東京・横浜と結ぶ海上ルートの再生

3. 防災・産業が調和した新しい空港モデル

- ・大規模災害時の後方支援・医療・物資輸送拠点としての機能
- ・航空関連産業の誘致・整備拠点の形成
- ・自衛隊 OB の技術継承と若手人材の育成の場
基盤整備と一部運用、首都圏第 3 の空の入口へとフェーズを設け、国・県・企業・大学との連携のもとに進めていきます。